



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社

決算説明会

2022年12月期（第15期）第1四半期

2022年5月18日 東証 グロース：4579

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料内の免責事項を必ずご参照ください。



- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社

決算説明会

2022年12月期（第15期）第1四半期



1. 今期のビジネスハイライト

2. 第1四半期業績

業績概要・事業収益・研究開発費・連結貸借対照表・キャッシュフロー

3. 今期の見通し

4. トピックス

動物薬・テゴプラザンほか

5. プログラムの状況

導出済みプログラム・導出準備プログラム

6. その他

資金の状況と配分・新マネジメントチームほか



連結経営成績

事業収益339百万円。通期計画2,605百万円の達成率13%

- 営業利益△119百万円、経常利益△70百万円、四半期純利益△120百万円
- ロイヤルティ収入：184百万円を計上（前年同期比36%増）
- マイルストーン収入：一時金115百万円を得たものの前年同期比では77%減
- 研究開発費：探索研究を軸に263百万円を計上
- 自己資本比率89.7%（前期比1.6%減）
- キャッシュフロー：現金および現金同等物残高 2,404百万円（前期比163百万円増）

現時点では今期業績見通しに変更なし

- 事業収益2,605百万円、事業費用2,184百万円、営業利益 420百万円

上市品

ペット用医薬品が好調に推移

- GALLIPRANT®：2021年の売上1億米ドル（約125億円）の勢いは衰えず好調に推移
- ELURA®：販売中の米国に続き欧州で承認申請（2022年3月）

テゴプラザンの市場拡大も順調

- 韓国売上高（院外処方実績） 301億ウォン（約30億円；前年同期比23%増）
- 韓国において口腔内崩壊錠の承認を取得（2022年2月）
- HKイノエン社がマレーシア国内最大規模の企業と契約締結（2022年2月）

4月以降の進展

テゴプラザンの展開がさらに加速

- 中国での承認取得・販売開始（4月）
- 韓国におけるK-CAB®口腔内崩壊錠の発売（5月）
- HKイノエン社がDr. Reddy's Laboratories社とインドを含む7か国の契約を締結（5月）



事業収益339百万円（前年同期比48.3%減）

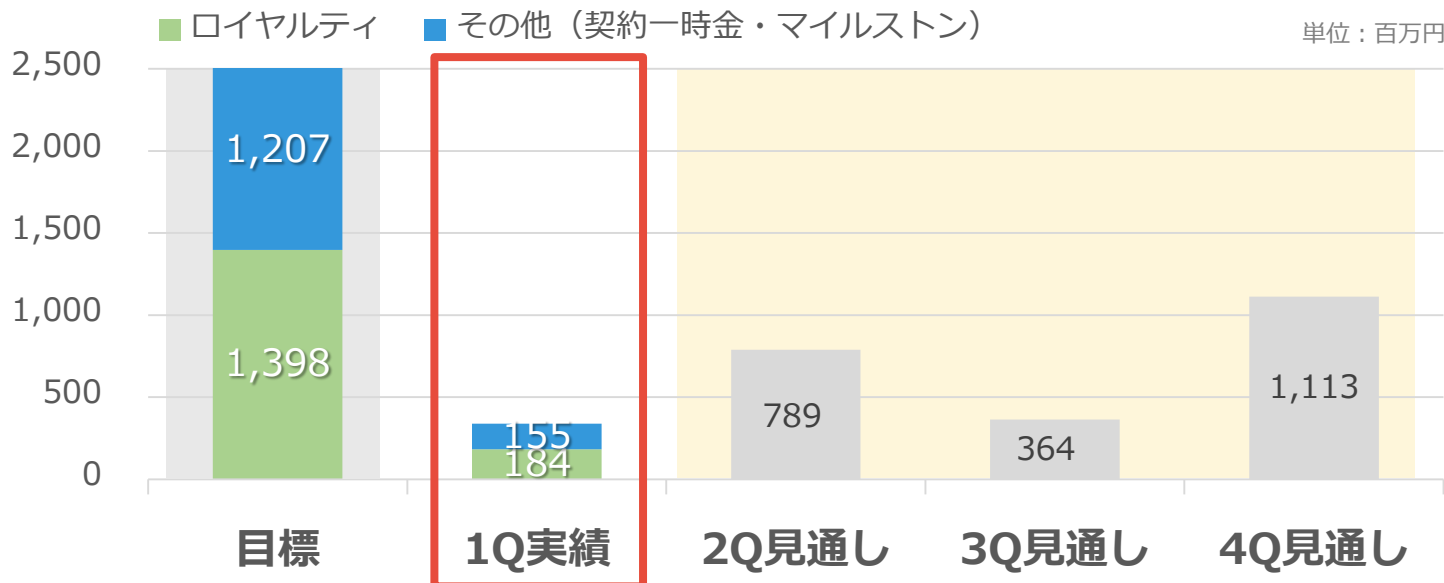
- ロイヤルティ収入は順調に増加。マイルストーン収入が前年度同期に比べて減少

	前年度同期	
	2022年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期
事業収益	339 百万円	655 百万円
営業利益	△119 百万円	149 百万円
経常利益	△70 百万円	268 百万円
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△120 百万円	188 百万円



通期計画 2,605百万円に対し、339百万円を計上

- **ロイヤルティ**：ペット用医薬品販売堅調。前年同期比36.4%増の184百万円を計上
- **マイルストーン**：ELURA®の欧州申請一時金115百万円。総額516百万円を得た前年に比べ77.7%減



達成率

13%

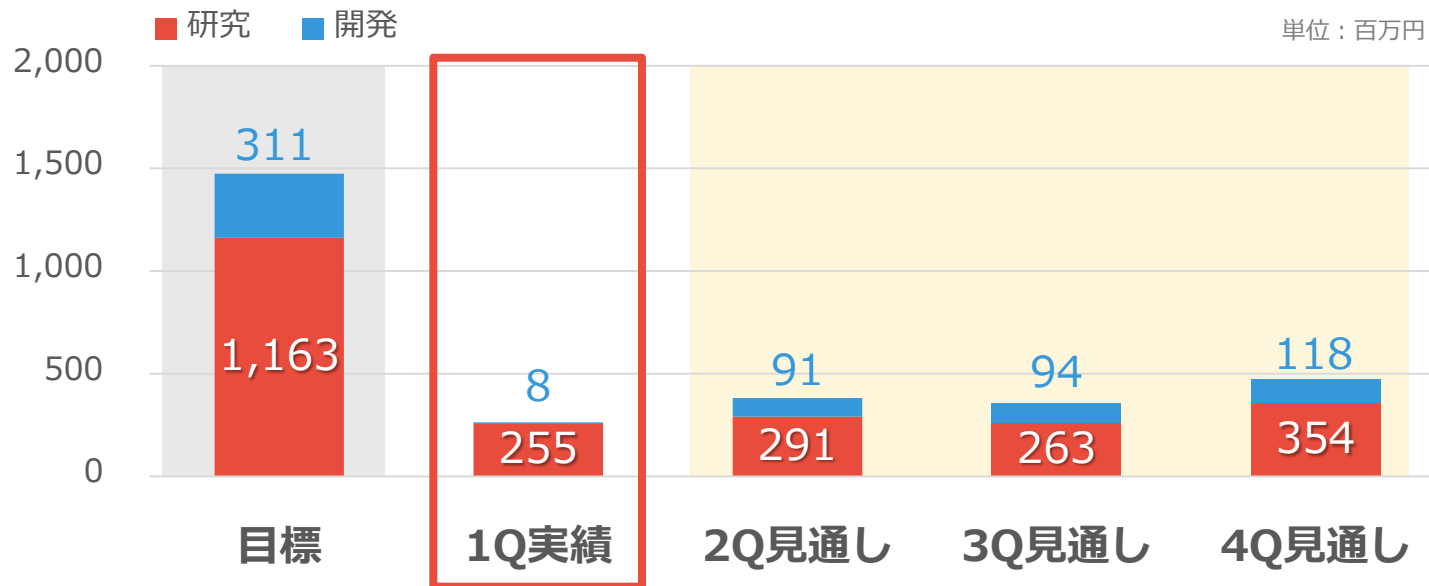
実績	1Q	ペット用医薬品（動物薬）の販売ロイヤルティで184百万円を計上 マイルストーン達成に伴う一時金ほかでその他収益155百万円を計上
	2Q	テゴプラザンならびに動物薬の販売ロイヤルティおよびその他収入をあわせて789百万円を見込む
見通し	3Q	動物薬の販売ロイヤルティおよびその他収入をあわせて364百万円を見込む
	4Q	テゴプラザンならびに動物薬の販売ロイヤルティおよびその他収入をあわせて1,113百万円を見込む

※今後の見通しについては収入区分の別を設けずまとめて表示しています。



通期計画 1,474百万円に対し、263百万円を計上

- 探索研究を軸に263百万円を計上。グレリン受容体作動薬およびテゴプラザンの費用の多くは第2四半期以降に発生する見込み



実績	1Q	探索研究を軸に263百万円を計上 グレリン受容体作動薬の前臨床試験が進行中。テゴプラザンの臨床薬理試験準備に着手
	2Q	探索研究活動に前臨床開発および臨床試験の準備費用を加えた382百万円を使用する見込み
見通し	3Q	探索研究活動に前臨床開発および臨床試験の準備費用を加えた357百万円を使用する見込み
	4Q	探索研究活動に前臨床開発および臨床試験の準備費用を加えた472百万円を使用する見込み

※本資料では開発候補化合物の前臨床試験以降を「開発」としています。研究開発費は研究開発部門の人件費等を含みます。

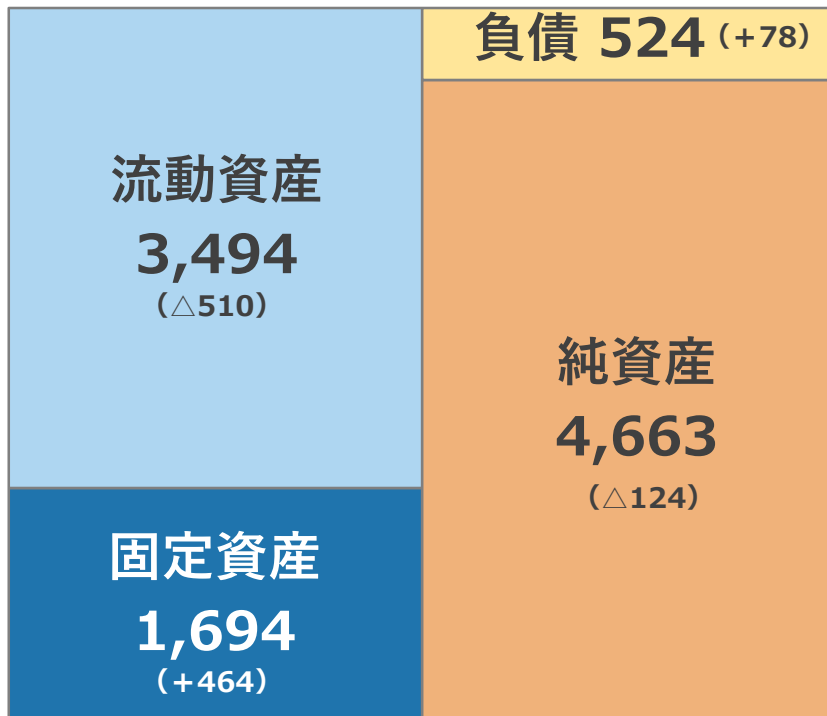


自己資本比率89.7%（前期比1.6%減）

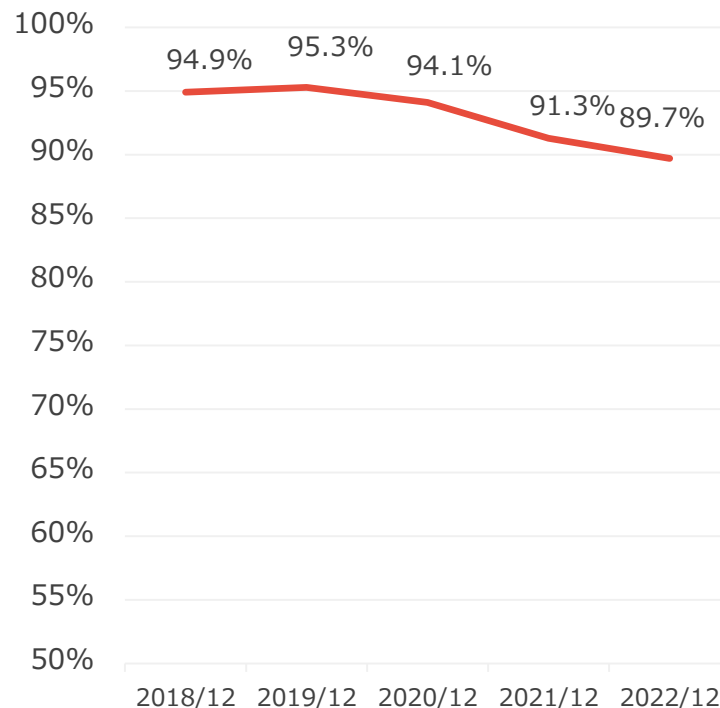
- 資産：売掛金の減少、前払費用の増加、リース資産の増加などで前期比46百万円減（0.9%減）
- 負債：リース債務の増加、未払税の増加などで前期比78百万円増（17.6%増）
- 純資産：四半期純損失の計上などで前期比124百万円減（2.6%減）

連結貸借対照表（対前期比較）

単位：百万円



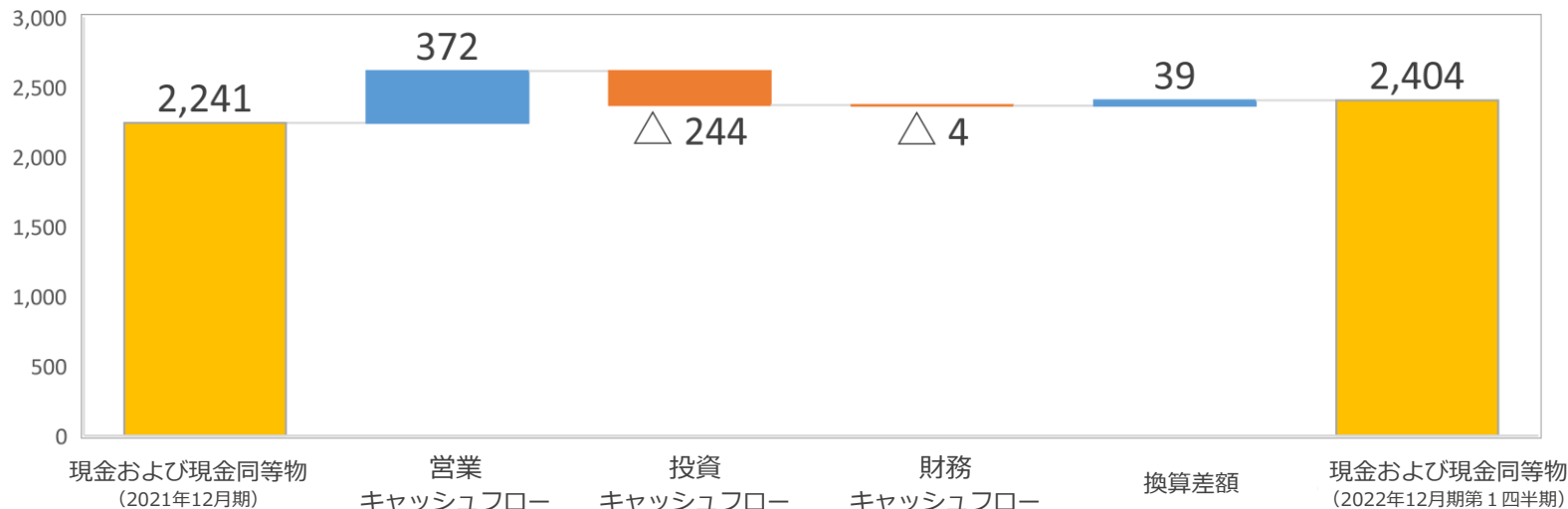
自己資本比率





2021年12月期末に比べ163百万円増加（7.3%増）

単位：百万円



営業

キャッシュフロー

主な増加要因：売上債権の減少857百万円
 主な減少要因：前払費用の増加184百万円、税金等調整前四半期純損失85百万円、法人税等の支払額90百万円

投資

キャッシュフロー

主な増加要因：投資有価証券の償還による収入56百万円
 主な減少要因：投資有価証券の取得による支出301百万円

財務

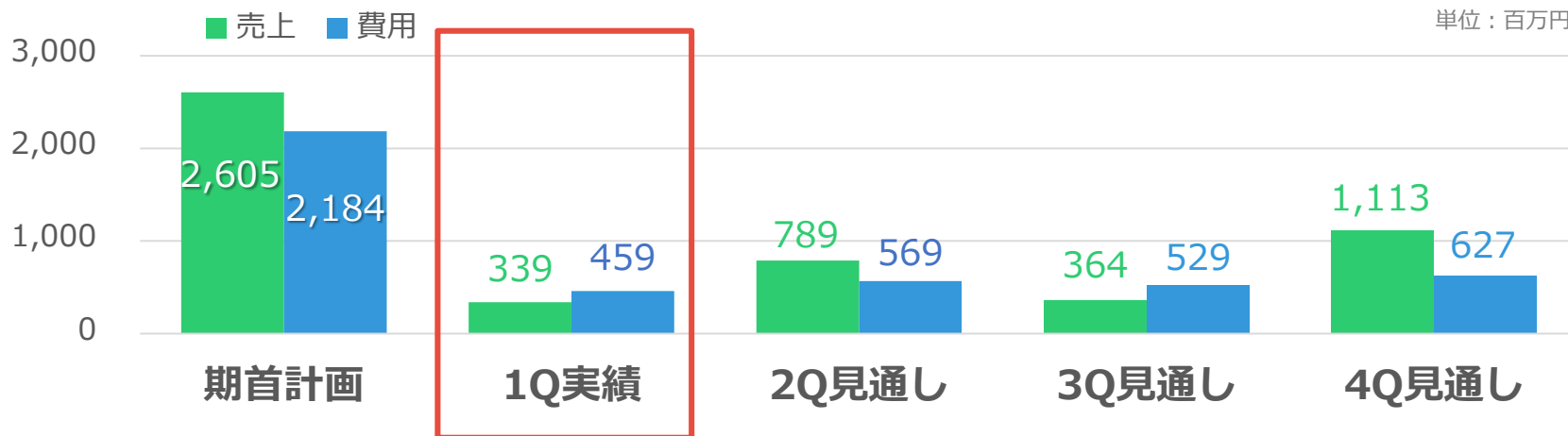
キャッシュフロー

主な増加要因：新株予約権の行使による株式の発行による収入2百万円
 主な減少要因：リース債務の返済による支出6百万円



● 現時点では今期業績見通しは変更なし

事業収益2,605百万円、事業費用2,184百万円、営業利益 420百万円



売上

- 1Qは、動物薬の販売ロイヤルティとマイルストーン達成に伴う一時金を軸に339百万円を計上
- 2Qは、マイルストーンと販売ロイヤルティ等を軸に789百万円を見込む
- 3Qは、マイルストーンと販売ロイヤルティ等を軸に364百万円を見込む
- 4Qは、マイルストーンと販売ロイヤルティ等を軸に1,113百万円を見込む

以上の結果、通期で2,605百万円を見込む

費用

- 1Qは、事業原価 53百万円、研究開発費用 263百万円、その他販売費一般管理費 142百万円を計上
- 2Qは、事業原価 50百万円、研究開発費用 382百万円、その他販売費一般管理費 137百万円を見込む
- 3Qは、事業原価 47百万円、研究開発費用 357百万円、その他販売費一般管理費 125百万円を見込む
- 4Qは、事業原価 52百万円、研究開発費用 472百万円、その他販売費一般管理費 103百万円を見込む

以上の結果、通期で2,184百万円を見込む



EP4拮抗薬 GALLIPRANT®



一般名	grapiprant (グラピプラント)
適応症	犬の変形性関節症
販売元	Elanco Animal Health, Inc. (米国) (エランコ社)

- 日米欧ほかで販売中
- 2021年の売上高は1億米ドル (約125億円) ¹⁾ に到達
- エランコ社史上10個目のブロックバスターに成長

グレリン受容体作動薬 ENTYCE®/ELURA®



一般名	capromorelin (カプロモレリン)
適応症	犬の食欲不振 (ENTYCE®) 慢性腎疾患の猫の体重減少管理、猫の食欲不振 (ELURA®)
販売元	エランコ社

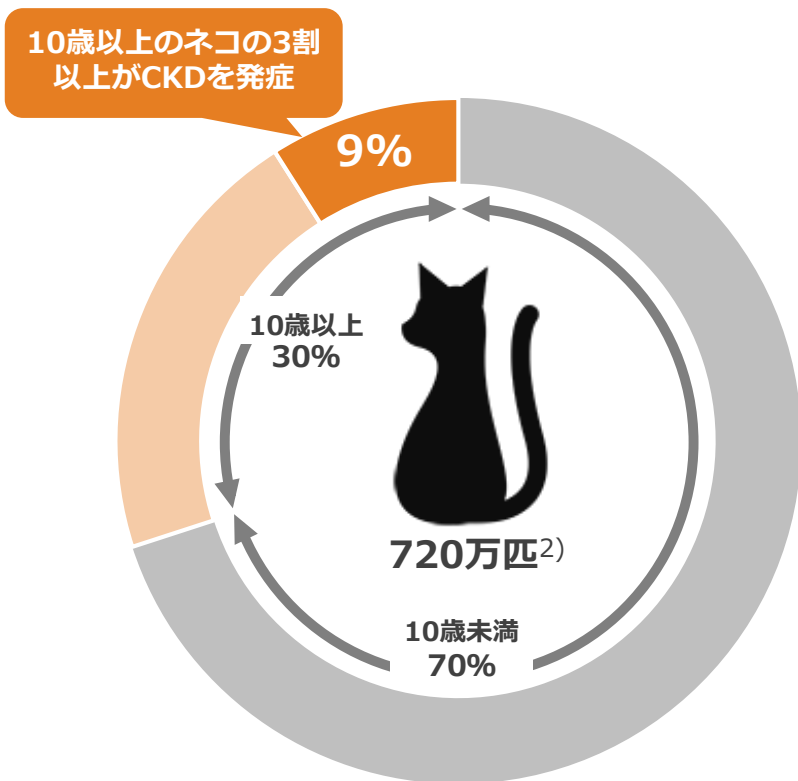
- ENTYCE® : 米国で販売中、売上は堅調に推移
- ELURA® : 米国で販売中、欧州で承認申請 (2022年3月発表)

1) エランコ社 2021年度決算発表 (2022年2月24日); 換算レート: 1米ドル=125円



ネコの9%以上が慢性腎疾患（CKD）を発症 CKDによる体重減少は寿命に影響

日本における高齢ネコの比率¹⁾



ネコの飼育頭数²⁾ TOP5



米国

7,410万匹



欧州

5,660万匹



中国

5,310万匹



ロシア

1,780万匹



ブラジル

1,250万匹

1) 日本ペットフード協会資料 (<https://petfood.or.jp/data/chart2017/3.pdf>)

2) A Guide to Worldwide Pet Ownership (<https://www.petsecure.com.au/pet-care/a-guide-to-worldwide-pet-ownership/>)

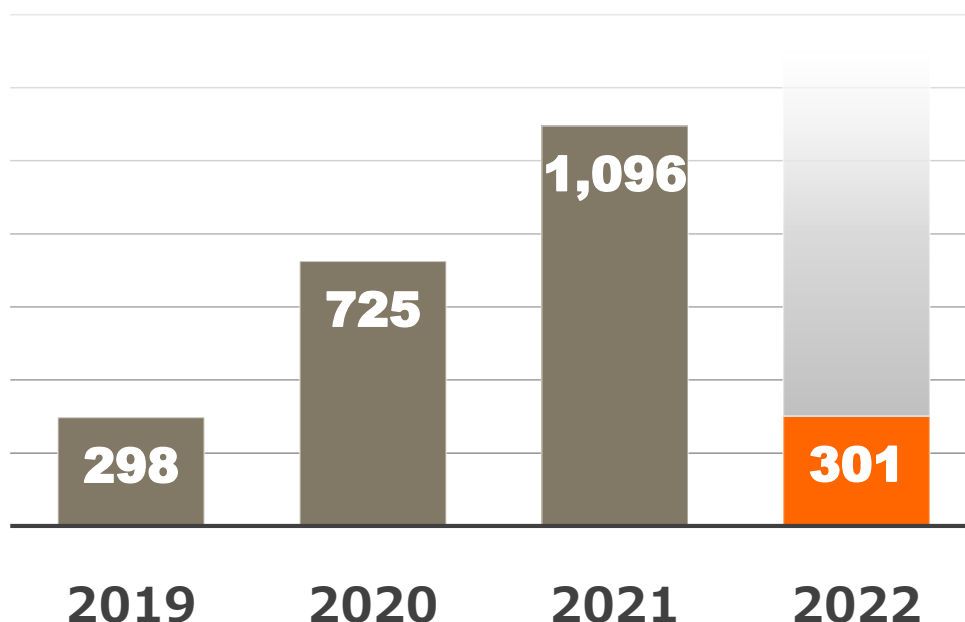


K-CAB®の韓国販売は前年度に引き続いて好調に推移

- 2021年の韓国国内売上高 1,096億ウォン（約109億円）
 - 消化性潰瘍薬の市場シェア 1位を獲得
- 当第1四半期の韓国国内売上高※1 301億ウォン（約30億円）

「K-CAB®」の韓国売上高の推移

(単位：億ウォン)



前年同期比
23%増
と高い成長率を維持

※1：院外処方データ (UBIST)
 ※2：暫定値 (2022年5月9日 HKイノエン社発表)
 換算レート：1韓国ウォン=0.10円



(韓国)

K-CAB®口腔内崩壊錠の発売 (2022年5月)

- 2022年2月：製造販売承認を取得
- 2022年5月：販売開始
- 健康保険給付適用の見込み

胃食道逆流症（びらん性・非びらん性）、胃潰瘍、ピロリ除菌補助に次ぐ4番目

口腔内崩壊錠の利点

服用上の利便性が向上・対象患者の拡大

- ✓ 錠剤をうまく飲み込めない高齢者や水分摂取制限を受けている方でも服用しやすい
- ✓ 外出中などで水が飲めないときにも服用できる



新剤形の追加によるHKイノエン社の収益増の当社収益への反映を期待

写真：K-CAB®口腔内崩壊錠製品パッケージ (HKイノエン社提供)



(中国)

製造販売承認を取得し記録的な速さで発売 (2022年4月)

- サプライセンス先企業：Luoxin Pharmaceutical (Luoxin社)
- 中国販売名：「泰欣赞® (タイシンザン)」
- 革新的な医薬品を表す「分類1」での承認を取得
- 4月13日の製造販売承認のわずか15日後の4月28日に発売
- 主要病院・小売薬局・インターネット販売 (オンライン診療)



写真：泰欣赞®製品パッケージ (Luoxin社提供)

Luoxin社の売上目標

2023年 10億元 (約**196億円**)

中長期 30億元 (約**588億円**)

**マイルストーン合計3億円を受領し第2四半期の収益に計上
さらに当社は売上に応じたロイヤルティを受け取る権利を保有**



同社の経営陣・従業員あわせて数千人が参加する大規模な式典を開催



写真：Luoxin社グループ副社長（党委員会書記）の李三鸣（Li Baoqi）氏らが出席した発売記念式典の1シーン




出所：Luoxin社ウェブサイト（<http://www.luoxin.cn/page.aspx?node=53&id=11127>）



中国の消化性潰瘍薬の市場は大きく、今後さらに拡大すると期待される

- 2020年の市場規模3,500億円。2021年には米国を抜いて世界第1位の市場に成長
2021年第3四半期時点で3,100億円に達しており、通期では4,000億円を超えたとみられる
- ライフスタイルの欧米化や高齢化により胃食道逆流症は増加すると予想
- 日韓ではP-CABの参入により市場規模が拡大

表. 胃食道逆流症の患者数、消化性潰瘍薬の市場規模（2020年）、および主な治療薬

国・地域	患者数（人口比）	市場規模（総額）	市場規模/患者数	主な治療薬
 (中)	5,800万人 (4.2%)	3,500億円	6,000円/人	PPI & H2RA
 (米)	6,700万人 (21%)	4,500億円	6,700円/人	PPI & H2RA
 (韓)	300万人 (5.8%)	600億円	20,000円/人	PPI, H2RA & P-CAB
 (日)	1,700万人 (14%)	2,500億円	14,000円/人	PPI, H2RA & P-CAB

出所：Sci. Rep. (2020) 10:5814 | <https://doi.org/10.1038/s41598-020-62795-1>

換算レート：1 韓国ウォン=0.10円、1 米ドル=125円、1 中国元=19.6円



(マレーシア)

マレーシア企業との製剤供給契約締結 (2022年2月)

- HKイノエン社 & Pharmaniaga Logistics (ファーマニアガ社)
国内最大規模を誇る医薬品関連企業
- 本契約の締結により東南アジア経済規模上位6カ国全てに進出



(米国)

HKイノエン社が第I相臨床試験を完了 (2022年4月)

- 薬物動態・薬動力学・安全性を確認
- サブライセンス先のBraintree Laboratories (ブレインツリー社) が年内に新たな臨床試験を開始する予定

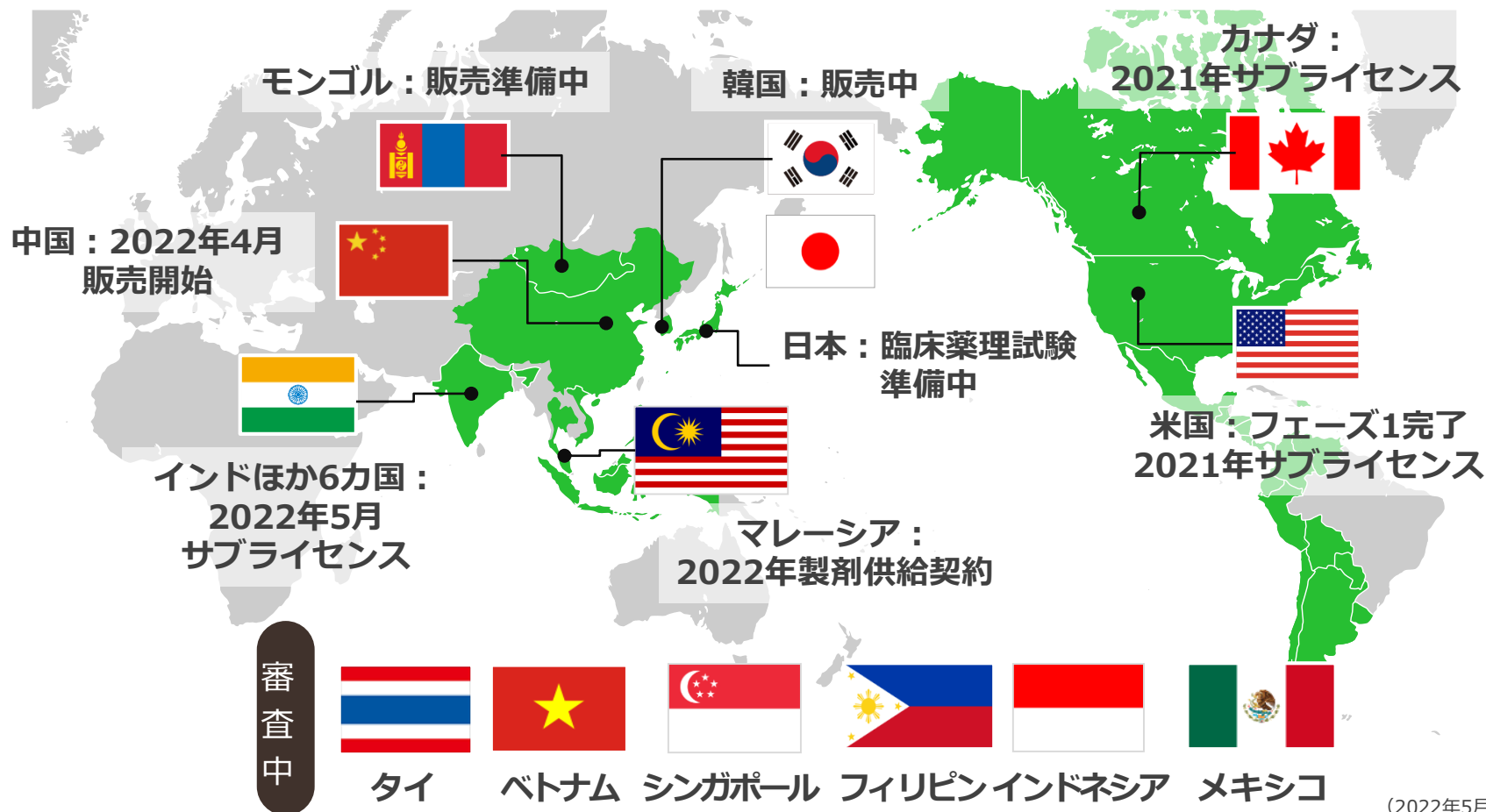


(インド)

インドを含む7か国へのサブライセンス (2022年5月)

- Dr. Reddy's Laboratories (本社：インド・ハイデラバード)
- 対象地域：アジア、東欧およびアフリカに所在する7カ国
- インドの消化性潰瘍薬の市場規模は世界第4位

- 上市済み 2カ国、販売準備中/審査中/申請準備中 32カ国、臨床開発段階 1カ国
- 中国での承認取得と販売開始（4月）、モンゴルで販売準備中
- 5月11日、HKイノエン社はインドを含む7か国へのサブライセンスを公表



(2022年5月15日現在)



消化性潰瘍薬のグローバルの潜在市場は **2兆円超** (2020年基準)

当社のライセンス先であるHKイノエン社は2028年までに100カ国への進出を目指す

現在、上市済み**2**カ国 (韓国・中国のほか)。**34**カ国において開発・承認審査中・販売準備中

表. 主要国・地域における開発状況と市場規模

国・地域	段階	発売年 (見込み)	市場規模
韓国	販売中	2019年 (済)	600億円 (6,000億ウォン)
中国	販売中	2022年 (済)	3,500億円 (170億元)
米国	フェーズ1完了	非開示	4,000億円
モンゴル	承認取得済・販売準備中	2022年	非開示
東南アジア	審査中	2022-2023年	460億円 (370百万ドル)
中南米	審査中 (メキシコ) 申請準備中 (その他16カ国)	2022-2023年	非開示

出所: HKイノエン社発表; 換算レート: 1韓国ウォン=0.10円、1米ドル=125円、1中国元=19.6円



導出済みプログラム（ヒト）（1）

- **テゴプラザン**：韓国・中国で販売中。モンゴルで販売準備中。米国ではHKイノエン社が第I相臨床試験（P1試験）を完了し、サブライセンス先のブレインツリー社が新たな臨床試験を年内に開始予定。5月11日、インドを含むアジア・東欧・アフリカの7か国へのサブライセンス
- **EP4拮抗薬**：AskAt社の導出先であるIkena Oncology社が臨床試験を実施中
- **ジプラシドン**：Meiji Seikaファルマ社との契約を解約。当社は国内における権利を返還

プロジェクト名	導出先	主適応症	実施地域	臨床開発						
				探索	前臨床	P1	P2	P3	承認申請	承認
テゴプラザン (カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB) K-CAB®)	HKイノエン社 (韓国)	胃食道逆流症	韓国	販売中 (2019年3月上市)						
			中国	販売中 (2022年4月上市)						
			モンゴル							承認取得
			米国			終了				
			タイ、メキシコ、ベトナム、フィリピン、インドネシア、シンガポール							審査中
			インド (ほか25か国)							準備中
EP4拮抗薬	(株)AskAt	疼痛	米国				前期終了			
			中国			終了				
		がん	米国			実施中				
			中国			実施中				
		変形性関節症 自己免疫疾患 他	—			終了				



導出済みプログラム（ヒト）（2）

- CB2作動薬：AskAt社の導出先であるOCT社（英国）が前臨床試験を実施中
- 選択的ナトリウムチャンネル遮断薬：マルホ社にて引き続き開発中
- P2X7受容体拮抗薬：Eli Lilly 社（米国）が第Ⅱ相臨床試験（P2 試験）以降のグローバル開発を準備中。P2 試験の開始時にマイルストーン収入が発生する見通し
- 特定のイオンチャンネル：EAファーマ社にて引き続き開発中
- TRPM8遮断薬：Xgene社（香港）が前臨床試験を準備中
- ナトリウムチャンネル遮断薬：久光製薬社が前臨床試験を準備中

プロジェクト名	導出先	主適応症	実施地域	臨床開発							
				探索	前臨床	P1	P2	P3	承認申請	承認	販売
5-HT ₄ 部分作動薬	(株)AskAt	アルツハイマー病	米国			終了					
COX-2阻害薬	(株)AskAt	疼痛	米国				前期終了				
			中国			実施中					
CB2作動薬	(株)AskAt	過敏性腸症候群に伴う疼痛	—		実施中						
選択的ナトリウムチャンネル遮断薬	マルホ(株)	鎮痛・鎮痒	—	非開示							
P2X7受容体拮抗薬	旭化成ファーマ(株)/Eli Lilly and Company	神経障害性疼痛	—			終了					
特定のイオンチャンネル	EAファーマ(株)	消化器領域	—	非開示							
TRPM8遮断薬	Xgene Pharmaceutical	慢性疼痛	—		準備中						
ナトリウムチャンネル遮断薬	久光製薬(株)	慢性疼痛	—		準備中						



導出済みプログラム（ペット）

- **GALLIPRANT®**：日米欧ほかで販売中。販売は順調に推移
- **ENTYCE®**：米国で販売中。販売は順調に推移
- **ELURA®**：ENTYCE®と同一成分の猫用医薬品として米国で販売中。2022年3月欧州で承認申請

プロジェクト名	導出先	主適応症	実施地域	パイロット試験	ピボタル試験	承認申請	承認	販売
EP4拮抗薬 GALLIPRANT®	エランコ社 (米国)	変形性関節症 (犬)	米国	販売中（2017年1月上市）				
			欧州	販売中（2019年3月上市）				
			日本	販売中（2020年10月上市）				
グレリン受容体作動薬 ENTYCE®	エランコ社 (米国)	食欲不振 (犬)	米国	販売中（2017年10月上市）				
グレリン受容体作動薬 ELURA®	エランコ社 (米国)	慢性腎疾患の 体重減少管理 (猫)	米国	販売中（2021年3月上市）				
			欧州			審査中		



- **テゴプラザン**：日本での臨床薬理試験の準備中。医学専門家の助言のもと試験プロトコルを検討し治験相談に向けてPMDAとのやり取りを開始
- **グレリン受容体作動薬**：外部委託による前臨床試験を実施中
- **5-HT₄部分作動薬、5-HT_{2B}拮抗薬、モチリン受容体作動薬**：導出活動を継続中
- **TRPM8遮断薬**：Xgene社への導出後も日本国内の権利は当社が保有

プロジェクト名	一般名 化合物コード	主適応症	対象 地域	臨床開発								
				探索	前臨床	P1	P2	P3	承認 申請	承認	販売	
カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB)	tegoprazan RQ-00000004	胃食道逆流症	日本			準備中						
5-HT ₄ 部分作動薬	RQ-00000010	胃不全麻痺 機能性胃腸症 慢性便秘	全世界			終了						
5-HT _{2B} 拮抗薬	RQ-00310941	下痢型過敏性腸症候群 (IBS-D)	全世界			終了						
モチリン受容体作動薬	RQ-00201894	胃不全麻痺 機能性胃腸症 術後イレウス	全世界		終了							
グレリン受容体作動薬	RQ-00433412	がんに伴う食欲不振・悪液質症候群、脊髄損傷に伴う便秘	全世界		実施中							
TRPM8遮断薬	RQ-00434739	疼痛	日本		検討中							



Syros Pharmaceuticals (シロス社) の開発方針・開発状況

- 骨髄異形成症候群 (MDS) および急性骨髄性白血病 (AML) 患者の約25%が高発現している RARα 遺伝子 (RARA) をバイオマーカーとしたPrecision Medicineとしての新薬承認を目指す
- 未治療高リスクMDSを対象としたアザシチジンとの併用による第Ⅲ相臨床試験 (SELECT-MDS-1) を実施中
- 未治療unfit (※) AMLを対象としたベネトクラクス・アザシチジンとの併用による第Ⅱ相臨床試験 (SELECT-AML-1) を実施中
- オーフアンドラッグ指定を取得済 (MDS : 米国、AML : 米国・欧州)

【開発スケジュール (予)】

ラ ライセンス契約 **申** 承認申請

コード	適応	対象地域	2022				2023				2024				
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
TM-411	MDS	米国	P3											申	
		日本													ラ
		中国													ラ
	AML	米国	P2	シロス社は2022年にSELECT-AML-1の中間結果を公表予定											
	PC	日本	P 1/2												ラ

※unfit : 高齢者などで標準化学療法に適さない患者



資金の状況

2022年～2024年の
ロイヤルティ収入

50 億円以上

2022年～2024年の
契約一時金・マイルストーン収入

39 億円以上

手元資金
(2022年第1四半期末)

39 億円

借入余力
(コミットメントライン)

10 億円

エクイティ調達

資金の配分

探索研究投資
(既存領域の拡充)

35 億円 (3カ年)

前臨床・臨床開発投資
(プロジェクトの価値向上)

14 億円 (3カ年)

設備投資

(既存設備の拡充・DX投資等)

戦略投資

(創薬技術の獲得等)

企業価値最大化に向けた投資

株主還元

株主配当金

黒字による
財務基盤強化に
応じて実施予定

自己株式の取得
機動的に検討

企業価値最大化を最優先し、中長期的に株主還元を実現する



取締役

執行役員



武内 博文
代表取締役

株式会社スカイライト・バイオテック
株式会社サイフューズ
ユビエンス株式会社



土屋 裕弘
社外取締役

田辺三菱製薬株式会社



New

須藤 正樹

取締役兼執行役員 経営企画・管理部門担当

帝人株式会社
ファイザー株式会社
名古屋大学
株式会社幹細胞&デバイス研究所



New

宇都 克裕

取締役兼執行役員 創薬研究部門担当

日本ベーリンガー・インゲルハイム株式会社
旭化成ファーマ株式会社
マルホ株式会社



柿沼 佑一 弁護士
取締役 (監査等委員)

高篠・柿沼法律事務所



嶋田 薫

開発戦略・知的財産部門担当

萬有製薬株式会社
岐阜薬科大学
ファイザー株式会社



宇津 恵

取締役 (監査等委員)

中外製薬株式会社



石井 幸佑 CPA
取締役 (監査等委員)

新日本監査法人



時価総額向上のロードマップ

時価総額 **300億円**
(株価¹⁾ 1,432円)

個人投資家

テゴプラザン価値最大化

- ・ 自社臨床試験

グレリン受容体作動薬

- ・ 前臨床試験

研究体制の強化

- ・ 新領域・モダリティ
- ・ 外部との提携

安定したロイヤルティのもとで成長可能性を追求

- ✓ 新たな投資家の獲得
- ✓ 明確な成長ストーリー

時価総額 **500億円**
(株価¹⁾ 2,386円)

国内機関投資家
中小型株ファンド

新たな導出契約

R&D²⁾体制・PG³⁾の充実

- ・ 自社フェーズ2実施
- ・ 新たな開発化合物

技術・PGの強化

- ・ M&Aによる拡充

ベンチマーク指標MSCI⁴⁾への採用を目指す

- ✓ 機関投資家目線の情報発信
- ✓ IR体制の強化

時価総額 **1,000億円**
(株価¹⁾ 4,772円)

海外機関投資家
大型株ファンド

収益性のさらなる拡大

- ・ テゴプラザン世界展開
- ・ 継続的な契約獲得

成長ストーリーの具現化

- ・ 新たな後期臨床開発品
- ・ 新領域・モダリティからの成果

資本市場へのフルアクセスでさらなる時価総額向上へ

- ✓ 長期安定株主の確保
- ✓ 海外機関投資家の獲得

1) 2022年3月31日時点における発行株式数(20,959,642株)に基づき算出; 2) R&D: 研究開発; 3) PG: プログラム
 4) MSCI: MSCI (モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社) が公表する指数。採用によりパッシブ需要が喚起され株価の上昇要因となる。
 海外機関投資家の運用資産の約90%はMSCIベース。うち日本株試算の合計は約160兆円

私たちは創薬を通じて健康と幸せに貢献し、
人々の心に陽をもたらします



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社